

りおもゆる

平成21年春号

自由に持ちください



聴こえの情報誌

発行元 九州リオン株式会社
営業業務部 092-281-5361

お客様インタビュー

今回のお客様インタビューは、リオネットセンター香椎から柴田美登里さんに登場していただきます。かわいい3匹のワンちゃんと一緒にご自宅でお話を伺いました。



柴田さんはまだ40歳とお若いですが、補聴器を使い始めたのはおいくつからですか？
 大学3年生くらいでしょうか。それまであまり不自由を感じていなかったのですが、就職活動で必要になって。

小さい頃から聞こえは悪かったのですが、難聴と認識したのは小学校の身体検査の時です。進行性難聴なので、徐々に不自由を感じる場面が多くなりました。

例えばどんな場面ですか？
 高校の試験で英語のヒヤリングテストがありますよね。聞き取れないんですよ。あと、体育館での百人一首大会も読み手の声が聞き取れない。先生から「お前一枚も取れないじゃないか」と言われたことを覚えています。悔しい思いをした数少ない苦しい思い出です。

落ち込んだりしなかったですか？

あはは。私は完璧主義じゃないので、「出来ないから仕方ないじゃん」と諦めるといふか開き直るといふか……。気にしてもしょうがないでしょう？出来ることを一生懸命やればいかなって。卑屈になる必要もないし、人と変わらないですよ。私の学生時代の友達は、私が難聴だと知らない人も結構いるんじゃないかと思えます。補聴器もしていなかったし、バンドでボーカルをしたり、結構行動派だったので。

柴田さんはスポーツが大好きとのことですね。
 20代の頃はスノーボードにハマりました。毎週末、会社が終わると広島まで車を走らせました。まだ今みたいにスノーボードがメジャーになる前で、「なんだこの面白いスポーツは!!」と衝撃を受けました。初めてスノーボードをした次の週にはウェアと道具を買い揃えましたよ。そして夏場に何かしたいと思っていた時にボディボードに出会いました。今も主人と一緒に海に行っていますよ。

スポーツだけでなく手先も器用とか。特にトンボ玉はデパートで販売されるほどの腕前とお聞きしています。
 器用ではないですけど、趣味でトンボ玉を作っています。あと犬の洋服もよく作りますよ。スポーツもそうですが、自分が興味を持ったものは、はまり込んで

棒状のガラスを何色も使って模様を作り、バーナーで加工しながら仕上げていくそうです。



でする方もかもしれません。自分のイメージ通りの作品が出来ると嬉しいです。師匠に褒められたときは本当に嬉しいですよ。



すごく手が込んでいて綺麗です!

基本的になんとかなる!という楽天的な私ですが、それは一生懸命頑張つて、あがいて、それでも無理なことはあるから、諦める勇気も必要だというニュアンスなんです。その頑張りを見てくれる人は必ずいるはずですから。ダメだったら次は後悔しないようにすればいいと思つて、これからも色々なことにチャレンジしていこうと思えます!

バイタリティ溢れる柴田さんに元気をもらって帰りました。ありがとうございました!



debut

新製品 ROSE

2009年2月20日にリオネット補聴器の新製品、「ROSE (ロゼ)」が発売されました。従来の補聴器にはない新しい機能「SSS機能」を搭載! コントラストを強調することで、会話が聞き取りやすくなりました。「音は聴こえるけど、何を言っているか分からない」という方はぜひ店頭でお試しく下さい。





私も取りました。その度に母が着けてのいたちこつこで、今となつては補聴器を着けない生活は考えられないので、母に感謝です。補聴器なくしては今の私のポジティブさは生まれていなかったでしょう。

今まで何台か使ってきましたが、途中でデジタル補聴器を使い始めました。デジタル補聴器のはじめの印象は、「静かになつてしまった」という感じでした。雑音が入らなくなつたので、なんだかさびしいような、だけどひとつの音がとても綺麗で、アナログが「あ」だとすると、デジタルは「あ」とクリアに聴こえました。ただ、私はアナログ補聴器の音が好きなので、デジタル補聴器をアナログっぽい音に調整してもらっています。

私は進行性難聴で、20歳には完全に聴こえなくなるとお医者さまに言われていました。21歳のときに人工内耳の手術のチャンスがあつたのですが、手術をすれば激しいスポーツは出来なくなること、それと補聴器の技術は日々進歩して、私の進行する難聴に補聴器が追いつくだろうと言われたことが私の気持ちを後押しし、今のままで生きていくことを決めました。あの時お医者さまが言われた通り、補聴器の技術が私の聴力を補い続けてくれてます。今の私の聴力は右が115、左が110です。私のような重度難聴者が、諦めかけていた音を聴くことができるのは本当に有難いことです。

難聴者の中には「着けると頭が痛くて着けるのをやめてしまった」という方も多くいらっしゃいますが、そういう方にも絶対に合った補聴器はあると思います。「合わないから装用しない」ではなく、まずは聴こえなくなった耳に音を吹き込んであげることが一番大事だと思います。そして、お店の方と一緒に自分に合った調整を根気強くしていくこと。確かに調整しても自分の思い通りの音にならないと、家に帰つてがつかりします。でも、購入したばかりの補聴器は音を拾ってくれる原石にすぎなくても、調整という磨きをかけて、どんどん輝きを増して宝石になると私は思っています。

音のある世界には、その労力も吹き飛ばすくらい沢山の魅力が詰まっています。その世界を知らずに人生を過ごすなんてもったいない! 素晴らしい音を聴いて感動して泣くことも、いとしい声を聴いて幸せを感じることも、虫の鳴き声、誰かが笑う声を聴いてとても幸せになることも、音がある世界での宝物です。

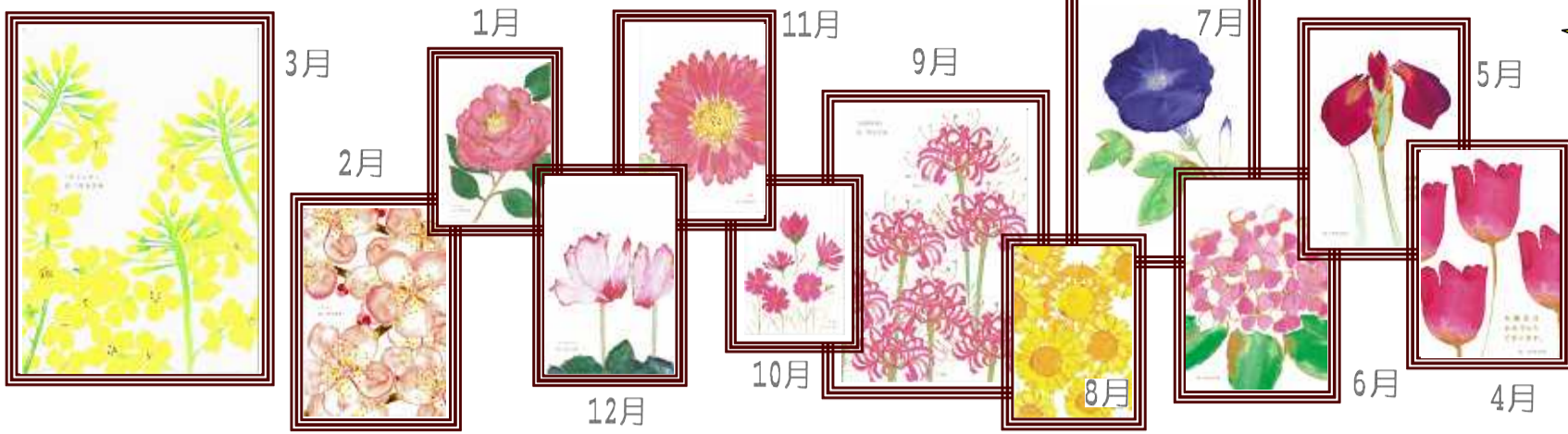
私は今でも「これは何の音だろう」と感動することが多々あります。その感動を今からもたくさんの方にお伝えしていきたいと思つています。

コラム

プロボディーボーダー

甲地由美恵さん

補聴器という宝石をつけて



バースディDM ミュージアム

2008年度は皆さまのお誕生日に、花をモチーフにした押金美和さんデザインのバースディDMをお送りしました。

縁の下の力持ち！

九州リオン株式会社 システム課



リオネットセンターでは、お客様のご要望に迅速に対応出来るように、聴力データやご購入履歴などをパソコンで管理しています。

お客様データは店頭で顧客管理フォームへ入力され、リオネットセンター25店舗統一のシステムで管理されています。その管理をしているのが本社のシステム課という部署なのです。システム課は個人情報が入り込まないように、ウイルスに感染しないようにと日々目を光らせています。

また、店頭でのパソコン上のトラブルにリアルタイムで対処できるように遠隔操作も行います。例えば鹿児島店でパソコンの画面が動かなくなった場合、博多にある本社のパソコンで鹿児島の画面を操作したり。

インターネットやパソコンのめまぐるしい変化に対応しながら、お客様からお預かりした大事な情報を、今日も彼らは守っています！



遠隔操作

本社
システム課

リオネット
センター



平成20年11月に、財団法人テクノエイド協会主催の認定補聴器技能者試験が行われました。リオネットセンターからも受験し、見事に全員合格！
実はこの試験、受験資格を取得するまでに5年かかります。店頭でお客様と接しながら、知識と技術を蓄え、満を持しての受験となるのです。
お客様のご要望に確かな知識と技術でお応えするために、リオネットセンターでは認定補聴器技能者の育成に努めています。

認定技能者誕生！

3月3日は「耳の日」なのをご存知でしたか？「耳の日」は昭和31年に社団法人日本耳鼻咽喉科学会の提案で制定されました。言うまでもなく「み（3）み（3）」の語呂合わせですが、実は聴覚障害児の教育を研究していた、電話の発明者アレクサンダー・グラハム・ベルの誕生日でもあります。また、盲聾の三重苦を克服したヘレンケラーに、サリバン女史が指導を始めた日でもあり、3月3日は耳と深い関係がある日と言えそうです。
その「耳の日」のイベントが、九州各地で行われました。耳鼻科の先生による相談や聴力測定、地域によっては鼓膜の写真が撮れたり、企画が盛りだくさんでした。
当日は各県のリオネットセンタースタッフも参加してお手伝いにご協力！会場によっては100名を超えるお客様に会場を溢らしていただきました。ありがとうございました！

レポート

ありがとう10万台！

前月号で紹介したオーダー補聴器製造部で補聴器の製造を開始してから、累計10万台を突破しました！今までの感謝の気持ちを込めまして、10万台目のお客様にクリーンminiをプレゼントさせていただきました。

10万台目のお客様
宮崎県の金丸様



おかげさまで35周年

リオネットセンター宮崎がお客様とふれあって、おかげさまで35周年を迎えました。また、現在の店舗に移転して1周年。これからも笑顔と確かな技術・知識で、お客様に愛される店作り而努力して参ります。



耳の日フェア

2月20日（金）～3月14日（土）まで、耳の日フェアを行いました。期間中はたくさんのお客様にご来店いただきました。ありがとうございました。次回のフェアもご期待ください！



お客様作品展

今回はリオネットセンター鹿児島にお越しにいただいている小溝様の作品をご紹介します。絵画や書道もされているようですが、今回は樹脂粘土を使ったお花をピックアップ！

まず作品を拝見して驚くのは、本物と見間違えほどの精巧さです。至近距離でも判断が難しい程です。一言でいえば造花なのですが、私たちがよく目にする造花とは違い、樹脂粘土に油性の絵の具を混ぜて着色し、プレスすることで花びらや葉を成形していくそうです。その出来映えは見事！花びらの形や模様、そして花粉までが実に細かく造られています。



作品を1点完成させるまでに1ヶ月以上はかかるそうですが、あせらず楽しみながら作っていらっしゃるということです。

元々、同級生の一人が作っていることを知り、教えてほしいと相談。その輪が広がり、今では同級生7、8人が集うサークルのようになっているとか。仲良く食事会や旅行にも出かけているそうで、毎日楽しく過ごされている小溝さんの笑顔は輝いていました。



お客様の声

□黒崎店をいつも利用させてもらっています。スタッフの皆さんが笑顔で親切な対応をしてくださるので助かっています。（遠賀郡 D・K様）
□補聴器の機能も進歩しましたね。電池交換お知らせアラームなんて高齢者にはとても有難い機能です。（北九州市 B・Y様）
□お店もきれいななり、お伺いするたびに親切丁寧で満足しています。これからもよろしく願っています。（北九州市 K・C様）

□お店が便利な場所になりました、行きやすくなりました。定期的にはハガキでのお知らせもあり、受け取るとう店に行く気持ちになります。ありがとうございます。（北九州市 I・C様）
□長いお付き合いになりました。右・左・右・左と5年毎に新しく作り変えています。お掃除もいつも気持ちよくしてもらっています。今後ともよろしく。（佐賀市 M・M様）
□もう20数年付き合っていて、手続きのことなど色々細かい所まで教えてくれたり大変助かっています。ありがとうございます！（遠賀郡 N・C様）

「りおめ～る」はお客様とリオネットセンターを結ぶ架け橋です。お客様からのご意見・ご要望・作品を募集しています。



山口・九州に25店、安心と信頼のネットワーク



0120-79-1133
<http://e-mimi.jp/>